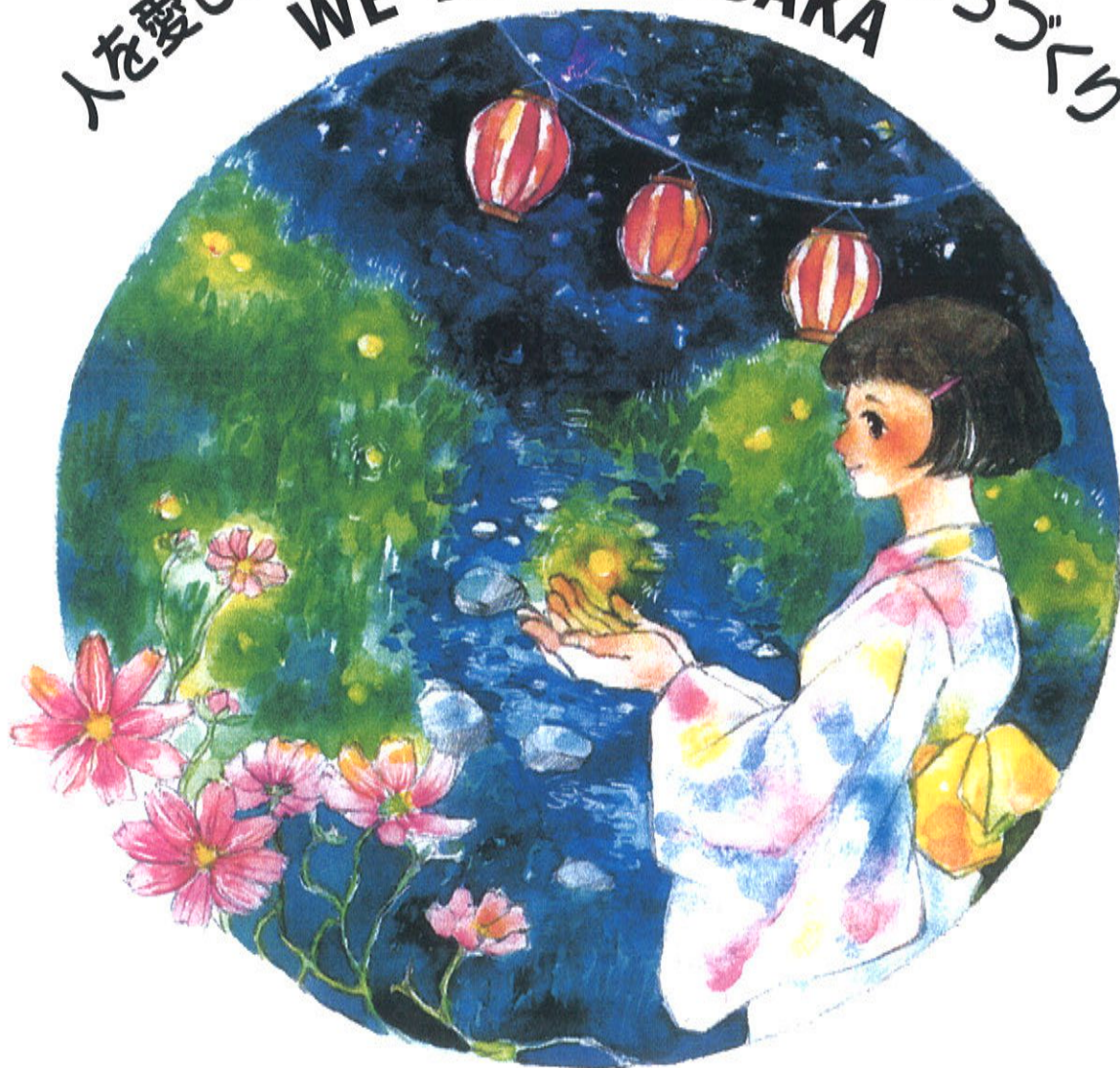


八坂地区まちづくり協議会

まちづくり計画

人を愛し、石手川を愛し、八坂を愛するまちづくり
WE LOVE YASAKA



も

く

じ

1. はじめに	1
2. まちづくり協議会とは	2
3. 八坂地区の歩み	3
4. いまの八坂	4
5. これからの八坂…まちづくり計画 5つの基本理念と22の基本計画・ 70の主な取り組み	5~10
6. 八坂地区まちづくり協議会組織図	11
7. わたしたちの八坂地区	12~13



●表紙イラスト提供／
愛媛県立松山南高等学校砥部分校デザイン科

1. はじめに

私たち人間は、人や地域との関係をなくして生きていくことは不可能であると言われていています。経済発展の陰で人間関係が稀薄になりがちで、地域のコミュニケーション不足となりました。

阪神・淡路大震災以来、人と人とのネットワークや地域のコミュニティを創って、より良く生きる必要性を感じています。

地域の活性化をめざし、各団体・企業・行政等が連携しながら、明るく、楽しい、そして安心して生活できる「まちづくり」をめざすために、平成25年6月に八坂地区まちづくり協議会を設立しました。理想をかかげ実現に向かって進めていく手順を地域のみなさんと話し合い、今後の方針として「八坂地区まちづくり計画」を作りました。

この計画は平成28年度から10年後を目途に順次実地し、5年目には実施されたもの、実施されなかったものを再確認して、できなかったものは何故できなかったのか反省し、見直したいと考えています。

一つでも多く実現できることを願い八坂地区の団体・組織や企業等が一体となり、楽しいこと、美しいことを共に分かち合える関係を築いていけるよう、より一層のご協力をお願い申し上げます。

八坂地区まちづくり協議会

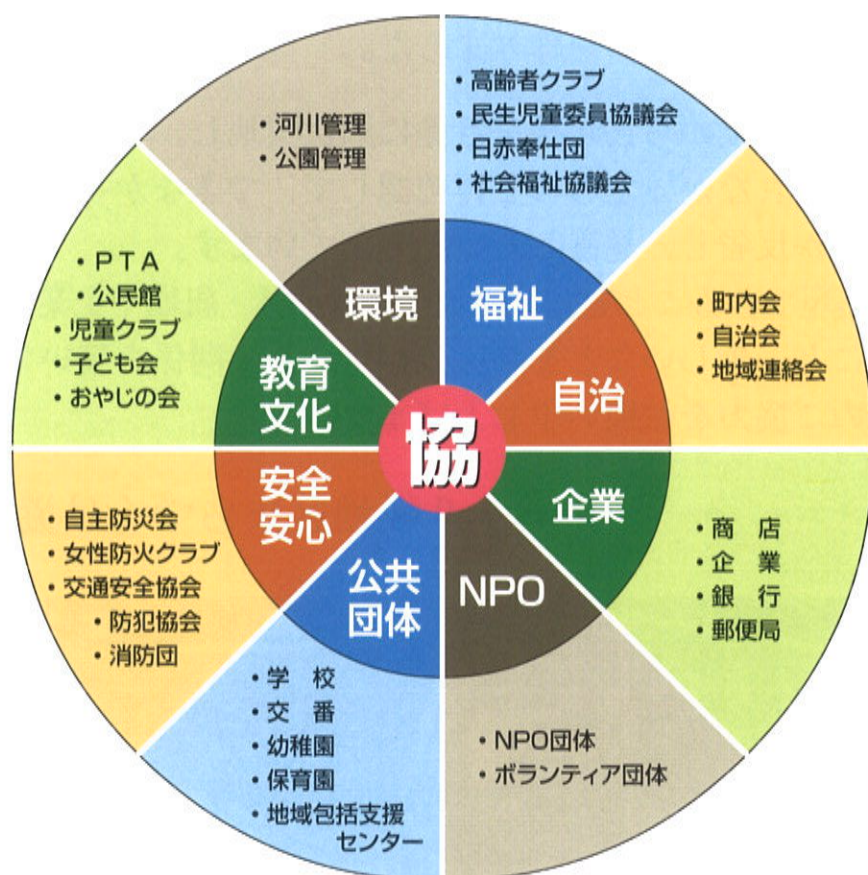


2. まちづくり協議会とは

現状と課題

私たちの地域では、全国的に見られる現象と同様に少子高齢化が進み、地域経済の弱体化、担い手不足、地域コミュニティの稀薄化など問題点は山積しています。

多岐にわたる課題にどう向き合っていくか、個人個人とか個々の団体だけで解決することは困難です。そこでゆるやかなネットワークをつくり、住民自らや団体が話し合い取り組んでいくために、松山市でも「まちづくり条例」に基いて、各地区に「まちづくり協議会」が設立されました。



行政(市)と協働

まちづくり協議会とは

地域の意見や課題を集約したり、組織をつなぎ、話し合い、協力しあう「場」とする仕組みで、まとめ役、つなぎ役が本来の役割ですが、将来を見据えながら当面の事業として地域住民の交流を進めるイベントを中心に実施しています。

3. 八坂地区の歩み

松山市は、江戸時代に松山城を中心に城下町として作られました。扇状地として広がる松山平野の治水工事として、扇頂部の岩堰を掘削して石手川を付け替え、豊かな水田地帯となりました。

城山の南麓には重臣の屋敷が配置され、東縁は小唐人町(大街道)、南縁は長町(湊町)で、江戸時代中期に商家と町家が連なって発展しました。西から北西にかけては、町家と職人の町で寺院も多く、北東には道後温泉があります。

西地区の中心部に勧請された八坂神社から町名や小学校名がつけられ、地区の名称となりました。

戦前戦後の昭和前期には、八坂地区東部の湯渡、築山は水田地区、中部には生産業・職人、西部は商家が多く見られました。

【八坂にかかわる年表】

慶長7年	1602	初代松山藩主・加藤嘉明公、松山城の築城に着手、石手川を付け替え、中の川を造設
寛永12年	1635	松山藩主に松平家（のち久松と改姓）
文化7年	1810	疫病除けのため、京都から祇園社（のち八坂神社と改名）を勧請
文政年間	1818~	立花橋架設
明治4年	1871	廃藩置県
22年	1889	松山、市制施行
27年	1894	南八坂町に第三尋常小学校開校（のちの八坂小学校）
28年	1895	松山夜学校、永木町の新校舎へ移転 （のち城南高校に改称、1982年北久米へ移転）
大正元年	1926	石手川氾濫、中村橋流失
昭和3年	1928	現立花橋完成
4年	1930	松山八坂尋常小学校と改称
11年	1936	現新立橋完成
16年	1941	松山市八坂国民学校と改称
20年	1945	7月26日、空襲を受け戦災、松山市街のほとんどを焼失
21年	1946	八坂小学校、湯渡町に校舎新築
25年	1950	八坂公民館設立
50年	1975	現中村橋完成、青少年センター設立
53年	1978	現永木橋開通
平成4年	1992	現湯渡橋完成
25年	2013	八坂地区まちづくり協議会発足

4. いまの八坂

やさしさとぬくもりの街 八坂

豊かな自然と美化・街路

- 石手川緑地
(永木公園、北立花公園)
- 中の川
(ホテルの里)
- 公園・緑が多い
- 子規の花通り
- 大通り
(勝山、千舟町、中の川、三番町、湯渡橋、永木橋)

便利な生活環境

- コンパクトシティ松山の中心部
- 商店街に近く、買い物便利
- 交通(バス、電車)に便利
- 官公庁、銀行、郵便局も近い
- 道後温泉、松山城に近い
- 繁華街にも近い

安全安心・健康

- 水害の恐れが少ない地区
(地震、火災への備え)
- 東消防署城東支署
- 自主防災会、消防団、女性防火クラブ
- 東警察署、大街道交番、一番町交番は近い
- 各種病院に至近

絆を結ぶ交流拠点、福祉

- 公民館活動(文化、体育)が盛ん
- 小学校
- 青少年センター
- 社会福祉協議会
- 高齢者クラブ
- 地域包括支援センター
- 介護施設も地区内に

教育文化・育成

- 少子化、小学生は少ない
- 保育所、幼稚園が多い
- 文教地区、上級校、専門学校は至近
- 趣味・文化教室、健康施設も至近
- 句碑・記念碑が多い

受け継ぐ伝統

- 八坂神社・井手神社(天神まつり)・多賀神社、金刀比羅宮
- 神輿
(大唐人、築山、井手神社)
- 西法寺、観音寺、西楽寺
- 妙法浄庵、梅木地蔵、安全地蔵、火除地蔵、極楽地蔵、おかよ地蔵

5. これからの八坂…まちづくり計画

総合
テーマ

人を愛し、石手川を愛し、八坂を愛する まちづくり…WE LOVE YASAKA

5つの基本理念と22の基本計画・70の主な取り組み

A 安全・安心なまちづくり SAFETY YASAKA

1. 災害時に安全安心な体制づくり
2. 防犯体制の強化
3. 交通安全の強化
4. こども、高齢者の安全対策



D 誇りのあるまちづくり PROUD YASAKA

1. 若い人が希望を持てるまちづくり
2. 地域の歴史・文化を学習する
3. 伝統行事の継承と掘り起し
4. 地域活動拠点の充実と確保

B 美しいまちづくり BEAUTY YASAKA

1. 美しい環境が拡大するまちづくり
2. 自然と並木路、花壇等の緑化を進める
3. エコ運動の推進
4. ゴミ対策の強化
5. 河川環境の整備

E 健康で幸せなまちづくり HAPPY YASAKA

1. 高齢者福祉の充実
2. こどもの健全育成
3. 誰もが健康なまちづくり
4. スポーツ、レクリエーション活動の充実

C 生きがいのあるまちづくり ACTIVE YASAKA

1. 人が交流し絆を深める
2. 福祉活動の啓発と強化
3. 文化活動の充実
4. 世代間交流とスポーツ活動
5. 国際交流の推進

八坂を次の世代へ引き継ぐために「どのようなまちにするか」分野別の目標と具体的な活動計画を策定した、幸せな八坂を築く計画書です。

基本計画	主な取り組み	活動・団体・期間
1. 災害時に安全安心な体制づくり		
イ	河川、水路危険個所の調査、整備	防災マップ・自主防 ^中
ロ	地震、大雨、事故、災害時等の災害弱者を地域全体で支援する仕組みづくり	自主防災 ^中
ハ	自主防災活動の活性化	防災訓練・自主防災 ^継 パトロール・町内会 ^継
ニ	独居老人の対策	社協、民生委 ^継
ホ	空き家対策	町内会 ^中
2. 防犯体制の強化		
イ	青パト防犯パトロール（新学期、夏休み）	町内会、防犯、警察 ^長
ロ	防犯灯、防犯カメラの設置管理	町内会、防犯、警察 ^中
ハ	防犯パトロール	地域連 ^継
ニ	詐欺防止	町内会、防犯、警察 ^短
3. 交通安全の強化		
イ	交通危険個所の調査、整備	安全協 ^中
ロ	交通安全の啓発	マナー教室・安全協 ^中
ハ	交通標識、カーブミラーの点検整備	町内会、安全協 ^中
4. こども、高齢者の安全対策		
イ	登下校時の安全	見守り隊 ^継 、安全マップ・小学校 ^継
ロ	高齢者の体力づくり	健康教室・社協・公民館 ^継
ハ	こども、高齢者、障害者への声掛け運動	町内会、社協 ^中

*活動 ^継継続 ^短短期1～3年 ^中中期4～6年 ^長長期7～10年



湯渡橋



新立橋